

SDGs を通して 世界と繋がる

～Lesson 7 A Microcosm in the Sea～



氏名：北見 朋子

学校名：神奈川県立鶴見総合高等学校

担当教科：外国語（英語）

実践教科：コミュニケーション英語Ⅱ

時間数：11 時間

対象学年：2 年次

人数：89 人（3 クラス）

実施概要

【1】単元のテーマ・目標

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発のためのグローバル目標)について知り、その具体例としてブラジルやオーストラリアが直面している様々な問題について学び、考え、その保護や自分の意見を述べる事が出来る。また、地球市民として自身を捉え、世界とどう自分が関わっていくかを考える。

【2】 単元の評価 規準例

(ア) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	SDGs と国内外の問題について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。間違ふことを恐れず自分の考えについて主張しようとしている。
(イ) 外国語表現の能力	読んだことに基づいて自分の考えを主張することができる。読んだことに基づいて自分の考えをまとめた文章として書くことができる。
(ウ) 外国語理解の能力	環境問題に関するプレゼンテーションについて概要や要点をとらえることができる。英語のプレゼンテーションの典型的な構成を理解して読むことができる。
(エ) 言語や文化についての知識・理解	世界の抱える問題を理解している。主張する表現の使い方を理解している。動詞の目的語になる if 節について基本的知識を身につけている。

【3】 単元設定の理由

- ✓ 児童
生徒観
- ✓ 教材観
- ✓ 指導観

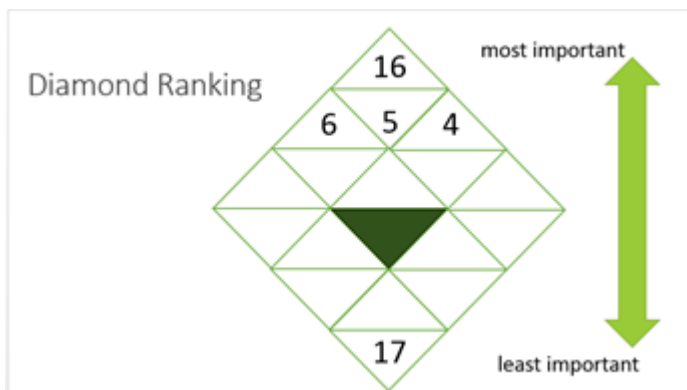
英語学習に対しては苦手意識を持つ生徒が多いが、物事への好奇心は強く、興味のあるトピックについては積極的に取り組む姿勢を見せることが多い。生徒の多くは10月に沖縄へ修学旅行に行っており、海やサンゴについてはある程度興味を持っていると想定される。また、既に教科書の別の単元で絶滅危惧種に関わる森林伐採等の環境問題についても学習している。

【教材観・指導観】

本課ではオーストラリアのグレートバリアリーフについて扱っているが、世界には他にも様々な問題が存在している。教科書の本文理解後、この問題だけでなく世界各国で起きている様々な問題、特にブラジル・アマゾンの熱帯雨林の破壊と減少について扱う。ただテキストを読み、理解するだけでなく、世界で起きている事象を「自分事」として捉えられるようになってほしい。そのために SDGs の概要と考え方を導入し、自らも地球市民であると認識し、世界の事柄について自分の意見を言えるようになってもらいたい。

【4】展開計画（全 11 時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	<p>○My summer vacation What is Brazil like?</p> <p>● お互いの夏休みについて話し合い、相互理解を図る。教師が夏休みに訪れた国、ブラジルについて写真や資料を通して知る。</p>	<p>◆ Conversation(“How was your summer?”という題でペアで会話練習)</p> <p>◆ Quiz(3つのヒントから教師が夏休みに行った国を当てる)</p> <p>①The country is far away from Japan. ②Portuguese is spoken in the country. ③The national flag of the country</p> <p>◆ フォトランゲージ(ブラジルの紹介)</p>	<p>・ワークシート(会話用)</p> <p>・大西洋中心の世界地図</p> <p>・写真(サンパウロの鳥居、街の様子、飛行機から見たアマゾンの熱帯雨林)</p> <p>・ブラジルの国旗</p> <p>・JICA のマーク</p>
2	<p>○What are SDGs?</p> <p>● SDGs について知る。ペアやクラス全体で互いの価値観について意見を交換し、共通点や違いがあることを認識する。</p>	<p>◆ Conversation(“What is the most important thing in your life?”という題でペアで会話練習)</p> <p>◆ Introduction of SDGs(SDGs とは何か、誰のためのものか、なぜ作られたのか英語での説明を聞き、それについて学ぶ。)</p> <p>◆ Picture Matching(SDGs の英語及びイラストを見て、それに合う日本語を選ぶ。)</p> <p>◆ Ranking(SDGs の 17 目標を見て、世界にとって重要だと思う順を個人で考え並べる。)</p>	<p>・ワークシート(会話用)</p> <p>・ワークシート(ランキング)</p> <p>・SDGs についてのパワーポイント</p>
3~4	<p>○OSDGs Goal 14</p>	<p>◆ Review & Introduction of SDGs(生徒と英</p>	<p>・All Aboard! English</p>



	<p>Life Below Water</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SDGs の目標 14 「海の豊かさを守ろう」の例として、オーストラリアのグレートバリアリーフのサンゴの生態について知る。 	<p>語でやりとりしながら、SDGs の概要・目的について復習する。Goal 14 Life Below Water を取り上げ、その具体例について考え意見を出す。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Introduction of the Great Barrier Reef & Corals ◆ Listening ◆ Vocabulary ◆ Reading Comprehension ◆ Explanation ◆ Reading Aloud ◆ Extra Reading (サンゴの生態についてインターネットで調べた英語の記事を読み、内容を共有する。) 	<p>Communication II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(内容理解) ・単語カード ・SDGs カード ・写真(沖縄とオーストラリアの海、サンゴ) ・サンゴの生態についてインターネットの記事
<p>5~6</p>	<p>○SDGs Goal 6 Clean Water and Sanitation</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サンゴの白化と将来起こりえる問題について学ぶ。また SDGs の目標 6 「安全な水とトイレを世界中に」と関連付けながら、その原因を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Introduction of Coral Bleaching ◆ Listening ◆ Vocabulary ◆ Reading Comprehension ◆ Explanation ◆ Reading Aloud ◆ Extra Reading (サンゴ白化の拡大についての地図を見て、世界でのサンゴ白化の発生について知る。) 	<p>・All Aboard! English Communication II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(内容理解) ・ワークシート(サンゴ白化の世界地図) ・単語カード ・SDGs カード ・写真(カラフルなサンゴと白化したサンゴ) ・サンゴ(実物)
<p>7~8</p>	<p>○SDGs Goal 7 Affordable and Clean Energy</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SDGs の目標 7 「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」を元に、サンゴの白化を防ぐために私達は何をすべきか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Solution to Coral Bleaching (生徒と英語でやりとりしながら、サンゴの白化に対する解決策を考える。) ◆ Listening ◆ Vocabulary ◆ Reading Comprehension ◆ Explanation ◆ Reading Aloud 	<p>・All Aboard!</p> <p>Communication English II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(内容理解) ・単語カード ・SDGs カード ・写真(サンゴ、グレートバリアリーフ)
<p>9</p>	<p>○ What is important for</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Conversation (“Which goal is the most important for the world?” という題でペア 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs カード ・ワークシート(会話用)



the world?

- SDGs の目標を見直し、各目標について意見を交わすことで互いの価値観の共有をする。また、世界における日本の見られ方を知り、自国を改めて見直す。

で会話練習)

- ◆ ランキング (SDGs の 17 目標を見て、グループで世界にとって重要だと思う順に並び、その理由を英語で考える。)
- ◆ What are the problems in Japan? (現在、日本が抱えている問題は何か全体で考える。ブラジルの高校生のアンケート回答とそれに関わる写真などを見て、感想を共有する。)

- ・ワークシート(ランキング)
- ・ワークシート(グループ活動用)
- ・世界地図
- ・アンケート結果
- ・写真(ブラジルの生徒・授業の様子、日本の街並み、工場など)



10

OSDGs Goal 15
Life On Land

- SDGs の目標 15 「陸の豊かさを守ろう」の例として、ブラジル・アマゾンの森林破壊について学ぶ。

- ◆ Picture Matching (ブラジルという国の基本的な情報を紹介し、SDGs の 17 目標と関係のある写真、さらにそれぞれの具体例を選ぶ。)
- ◆ DVD 視聴 (ブラジルの熱帯雨林破壊についての DVD を視聴する。ペアで内容理解の確認をする。)
- ◆ 熱帯雨林の破壊と日本との関わり (日本の食生活とブラジルの熱帯雨林の破壊の関わりを紹介し、自分と問題の繋がりについて考える。)
- ◆ Writing (今日の話聞き、感じたことを意見としてまとめる。)

- ・SDGs カード
- ・写真(ブラジルの人々、チエテ川、オンドリンパ事業、東洋人街など)
- ・動画(ラジオ体操・盆踊り大会)
- ・DVD(アマゾン熱帯雨林の破壊)
- ・ワークシート(アマゾン熱帯雨林について)



A little introduction to Brazil



○What can we do for the world?

- ブラジルが抱えている問題を知り、そのために日本が出来ることを考える。改めてSDGsのランキングを見直し、世界のためには何が大切か、またそのために自分が出来ることを考え、発表する。

◆ What are the problems in Brazil?(ブラジルの高校生・教師からのアンケート回答を元に、ブラジルが抱えている問題にはどんなものがあるか知る。)

◆ ・フォトランゲージ(ブラジルが抱えている問題や解決のために取り組んでいる写真を提示し、SDGsとどのように関わっているか考えさせる。)

◆ ・Writing(自分が大切だと思う目標とその理由、さらに自分が世界のために出来ることを個人で考え、英語でまとめる。)

◆ ・Group Presentation(ライティングで書いた英語をグループ内で発表する。)

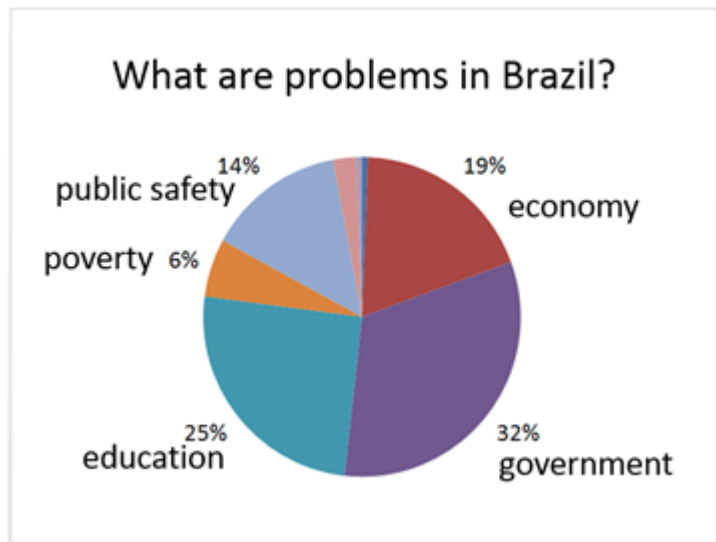
- ・アンケート結果
- ・写真(街、学校、人など)
- ・動画(英語のインタビュー)
- ・ワークシート(ランキング)
- ・グループ用ワークシート(SDGs ランキング)

【5】本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入 10分	○Greeting、 Take attendance ○Review ○アンケート結果	◆ 挨拶・出席確認をし、生徒の様子や変化を観察する。 ◆ 前時で学んだ内容を簡単に復習し、本時の学習内容に関連づけさせる。 ◆ ブラジルの学生(高校生)と教員から得たアンケートを元に、ブラジルが抱えている問題について知る。	・写真(ブラジルの国旗、アマゾン河) ・ワークシート(アンケート結果)



ブラジルの学校で行ったアンケート



クラスで提示したパワーポイント

<p>展開 25分</p>	<p>○フォトランゲージ</p> <p>○Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “What can we do for the world?” (グループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ブラジルが抱えている問題やその対策に関する写真を提示し、SDGs とどのように関わっているか考えさせる。生徒に問いかけながら、発言を促す。 ◆ 改めてランキングを見直し、その理由と世界のために自分が出来ることを個別で考え、英語でまとめる。使用可能な表現は事前に提示し、生徒が英文を作りやすくなるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真(ブラジルの街、学校、アマゾン河等) ・動画(ブラジルの高校生による英語のインタビュー) ・ワークシート(ランキング) グループ用ワークシート (SDGs ランキング) ・ワークシート(Writing)
<p>まとめ 15分</p>	<p>○Group Presentation</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “What can we do for the world?” (発表) <p>○Consolidation</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自身が大切だと思う目標やそのために出来ることについて、グループ内で英語で発表する。 ◆ 授業全体の振り返り、課題の確認、あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(Writing)

Do you think Brazil is developed?



フォトランゲージで使用了した写真



フォトランゲージ



自分たちに出来ることを英語で考える



グループでの発表を行う様子

【6】本時の振り返り

本時では、最初にブラジルで行ったアンケートの回答を扱ったが、外国に住む同世代の人々がどんなことを考えているか非常に興味を持っている様子であった。ブラジルで撮影した写真や動画を提示し考えさせる活動では、多くの生徒がブラジルと日本の共通点や違いに気づき、生徒なりによく考え、教師の問いかけに答えようとしていた。後半のライティングでは、これまでペアやグループで考えてきたことを個人で改めて考え、既習の表現を用いながら一生懸命取り組んでいた。まとめの発表では、これまで話し合ってきたメンバーとは異なるメンバーのグループを作ることで、別の生徒とも意見交換することができ、新たな発見を楽しんでいる姿が見受けられた。

【7】単元を通した生徒の反応/変化

【生徒からの感想】

- ・同じ地球にいるみんなの問題だと思いました。何年後、地球がだんだんボロボロになっていくと思うと自分もできるかぎりの事をするべきだと思いました。
- ・地球全体でどこに行っても地球温暖化の問題は重要だし、ちゃんと向き合っていかなければならないなって改めて思いました。
- ・企業が自分たちの利益のために大規模な破壊をすることは良くないと思う。自分に出来ることがあるかどうか気になった。
- ・今までは環境の事は自分には関係ないと思っていたけれど、今回の授業で今までよりは環境について考えたいなと思いました。
- ・環境破壊はその国だけで見るとはなくて、地球全体で見るとは思っていた。自然があるから人は生きていけているんだから1人1人が自然について考えるべきだと思った。
- ・他国の問題だけど回りまわって自分にくると聞いてとても驚いた。この地球の自然を守るために自分にできることがあれば、どんな小さなことでもやるべきだと思った。
- ・ブラジルの森が焼かれていても自分たちの生活にはあまり関係ないと思っていたけど自分が思っている以上にブラジルの森が焼かれることは生活に関係することなんだと思いました。
- ・今まで食べてきたものや普段使っているものも色々なものから成り立っていると知った。環境を壊しているのは一部じゃなくて地球全体で壊しているんだなと思った。今日の授業で事の重大さを知りました。
- ・最初に動画を見た時は大変な問題だけど自分にはあまり関係ないと思ったけど、その後の話を聞いて自分も食べたことのある物や身近な食べ物に森林を無くして作られた畑の物が関わっているかもしれないと感じて、少しこのことに対する見方が変わった。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

これまでの授業でSDGsについて知り、世界の諸問題やそれに対する取り組みを学んできた。生徒は世界で起きている事柄と自分が繋がっていると感じ始め、それらについて自分に何が出来るかを積極的に考えるようになっていた。授業内の表情や発言、ワークシートの感想などから、世界の問題に対して自分がこれからどう向き合っていくか真剣に考える姿が次第に強くなっていく様子が見られた。外国の問題が「他人事」ではなく、「自分事」に近づいたことは、大きな変化だと思われる。

さらに、ペアワークやグループワークの中で他の生徒と意見や価値観を共有することにより、他者との共通点や違いの存在を認識し、それを前向きに受け入れている様子がよく見られた。他の生徒や外国との相違に気づくことで、改めて自分の文化や考え方も見直すことができ、生徒の精神面での成長や他者理解における寛容さの変化を見ることが出来た。

【途上国・異文化への意識の変容】

(授業前)

本校には外国につながる生徒(外国籍の生徒や日本国籍であるが両親のいずれかが外国籍で外国につながる)のいる生徒が多く在籍しており、また外国や他文化に興味を持つ生徒も比較的多い。しかし、多くの生徒が関心を持っているのはアメリカやイギリスのような英語圏、または韓国などの日本から近い国々がほとんどである。発展途上国や日本から馴染みの

薄い国や文化については強い興味を持っている生徒は多くない。

(授業後)

今回の授業ではブラジルの基本的な情報をはじめ、現地で撮影した写真やビデオを提示しながら、日系社会やブラジルが抱える問題などを授業で扱った。生徒はこれまでほとんど関わりの無かったブラジルという国の様子に非常に強い興味を持ちながら話を聞き、活動に取り組んでいる様子が見られた。

授業後、生徒に行ったアンケートでは、今まではブラジルというと「自然」や「日本から遠い国」といったイメージしか無かったが、サンパウロのような大きな街が存在していることや、日系社会をはじめ、盆踊りやラジオ体操など様々な日本文化が伝わっていることに驚いたと多くの生徒が答えていた。地球の反対側で日本よりも日本らしいことをしていると知り、自国の文化を見つめ直すきっかけとなったという意見もあった。

ブラジルの学校で行ったアンケートの回答も、日本の生徒にとって興味深いものだったとの声が挙がっている。同世代のブラジルの学生が自国や世界に対してどのようなことを知っており、また考えているのかについて多くの生徒は興味があり、そこから共通点や意外性を感じたという。例えば、ブラジルが森林破壊や水質汚染などの環境問題に悩まされていることは生徒にとって予想外だったようで、外国と日本が共通の問題を抱え、1つの地球に生きているということを改めて実感したという。また、日本が抱える問題としてブラジルのほとんどの学生から「地震」や「津波」のような自然災害が挙げられたことや、日本での「社会的なプレッシャー」や「自殺率の高さ」が広く知られ、問題視されているという点については、多くの生徒から驚きの声が挙がった。

今回の授業を通して、多くの生徒がブラジルや世界に対して何らかの意識の変化があったのではないと思う。教科書や教師の話をはじめ、写真や動画を見て、クラスメイトと意見や考えを共有し、外国の生徒の意見も知ることで、外国や異文化に対して自分が知っていたことや思っていたイメージとの相違を様々な場面で感じ、見方や考え方に影響を与えたと考えられる。

【8】自己評価

1. 苦労した点

- 本研修に応募した理由の1つとして、国際理解教育の手法を学び、英語の授業内でそれを実践したいという思いがあった。これまでも授業内で環境や平和など国外の問題に関わる題材は扱ってきたものの、英語学習の一環として、かつ生徒に実感を持たせながら授業を行うことが上手く出来なかった。
- 今回参加するにあたり、教師海外研修での実践授業が単発のイベントのようにならないよう、英語教師として英語の授業内でどのように教科書内容とリンクさせ、英語を学ばせながら国際理解教育を行うかについては、授業の構想を練る段階から非常に苦悩した。何時間もの貴重な授業時間を使うため、英語学習に繋がらないものや、教科書内容と全く関係の無いものを授業で扱う訳にはいかない。さらに、生徒の興味・関心や彼らの生活と関わりの無いものを行っても、生徒は「なぜこれを勉強しなければならないのか？」と疑問や不満を感じ、結果的に教師の自己満足となってしまう。
- 本単元は、オーストラリアのグレートバリアリーフとその破壊が題材となっているが、事前研修で学んだ SDGs を軸に、オーストラリアだけでなく世界中の様々な問題や開発目標を知り、自分との繋がりを考えることで、題材がより身近なものとなり、生徒にとって意味のある学びが実現されるのではないかと考えた。また、SDGs についてペアでの意見交換、アマゾンの熱帯雨林の映像やブラジルで行った英語のインタビュー動画の視聴、自分の意見をまとめるライティングとその発表など、英語の授業として適切な活動が取り入れられているか常に意識した。「国際理解教育」として学んでもらいたい事柄と、「英語教育」としての学習をバランス良く指導に取り入れることは大変苦労したが、とても良い経験となった。

2. 改善点

- 今後の改善点としては、今回は本単元を11時間で行ったが、もう少し時間を多く取った方がより学びの多い授業になるのではないかと思う。上でも記した通り、今回の実践授業は英語の授業の中で行ったため、11時間には教科書の内容理解や文法・表現などの指導や練習が含まれている。教科書の内容理解後、SDGsの見直しや日本やブラジルの抱える問題を知り、今後自分が出来ることなどを考え発表した。すべての活動に十分な時間を与えられたとは言えない。可能であれば、生徒に自分で気になったことを調べさせたり、グループでの話し合いの時間をより多く与えたり、違った視点を持たせたりすること、トピックに関するディスカッションやディベートを行うことなども学習活動としては有効で、生徒により深い学びをもたらすことが出来るだろうと思う。
- 実際は、授業数の問題や他クラスとの進度の調整があるため、すべての活動を時間に余裕を持って行うことは難しい。しかし、年度が始まる前に年間指導計画を考える際、「国際理解教育」という観点で、どの単元でどんな活動をどの位の時間をかけて行うかを十分に考える必要があると感じた。

3. 成果が出た点

- 実践授業では、ブラジルで見てきたことや経験したことを話し、現地で手に入れたものなどを提示すると予想以上の反応があった。特に写真や動画は、インターネットからダウンロードしたものではなく、教師自身が撮影し、また教師自身が被写体となっているものに対し、普段以上に生徒の関心が向けられていることを強く感じた。ブラジルで行ったアンケートやインタビューなども、教師が現地で実施したものや、その土地の「生の声」となると、それらが遠い国で行われている事柄ではなく、生徒にとって身近な事柄に成り得るのだということが生徒の表情や反応から分かった。
- さらに世の中で起きている事柄に対して、自分も地球市民の1人で、関わりがあるのだと感じてもらうことにも授業を考えるにあたり常に意識を置いていた。生徒に自分の価値観を見つめ直す機会を与えたり、アマゾンの森林破壊と食品企業との関わりの例を示すことで、自分も部外者ではないと感じるきっかけになるようにした。アンケートについても、対象者が生徒自身と同世代の高校生によるものであったという点が、生徒にとってよりその回答をリアルに感じてもらうことに繋がったと思う。

4. 備考(授業者による自由記述)

本研修では、事前研修で様々な講師の方々に国際理解教育の手法を教えていただき、実践方法を学んだ。また異文化理解や国際協力に関わる考え方やたくさんのアイデアもいただくことが出来た。早い段階から実践授業を意識し、どのように授業を行っていくか話し合うことは指導案を考え、また海外研修に行く上で非常に有益だった。

ブラジルでは、充実したプログラムを組んでいただいたおかげで、非常にたくさんのことを経験することができ、毎日期待以上の感動を受けていた。少しでも教師が受けた感動を近い形で生徒に伝えられるよう、多くの写真や動画も撮影した。また、事前に送付していたアンケートや、その場でお願ひしたインタビューにもブラジルの多くの方々が快く協力してくださった。毎日の振り返りや、中間報告会、また最終報告会でも、ここでの経験を授業にどう還元するかという点にいつも焦点を当てた話し合いが出来たため、自分が生徒に何を伝えたいのか常に意識することが出来た。

実践授業の構成を考えるにあたっては、研修に応募した年度当初から11月下旬までどのように行うべきか常に悩み、多くの方に相談させていただいた。生徒の興味関心や学習への取り組みなどの微妙な変化も考慮に入れ、授業展開を考えた。とても長く大変な挑戦であったが、この経験は今後の自身の人生において、必ず良い形で生きていくと確信している。

参考資料

- ・国際連合ホームページ “Sustainable Development Goals”
- ・生徒の生き方が変わるグローバル教育の実践(株式会社メディア総合研究所)
- ・開発教育協会ウェブサイト
- ・池上彰のニュースに登場する国ぐにのかけとひかり 4巻:南北アメリカ・南太平洋(さえら書房)
- ・アマゾンがこわれる(ポプラ社)

本時で使用した主な資料(教材)

パワーポイントスライド



Questionário

Olá! Somos professoras das escolas no Japão. Nós gostaríamos de saber sobre o Brasil. Ficaremos felizes se vocês nos responder.

1. Qual é a sua origem? Circule todos os itens.
 (1) Brasileiro (2) Nikkei (3) Outras

2. Quais são os maiores problemas que o Brasil tem?
 Escolha os três maiores abaixo, e escreva na ordem (1º, 2º, 3º).

) problema ambiental
) economia
) relações com países estrangeiros
) política
) educação
) problema de pobreza
) segurança pública (assassinato, roubo, droga, etc.)
) emprego
) desastre natural (terremoto, chuva forte, etc.)
) outras (→)

3. Para resolver o problema do Brasil, tem alguma ideia do que os japoneses podem fazer?
 Circule sua opinião.

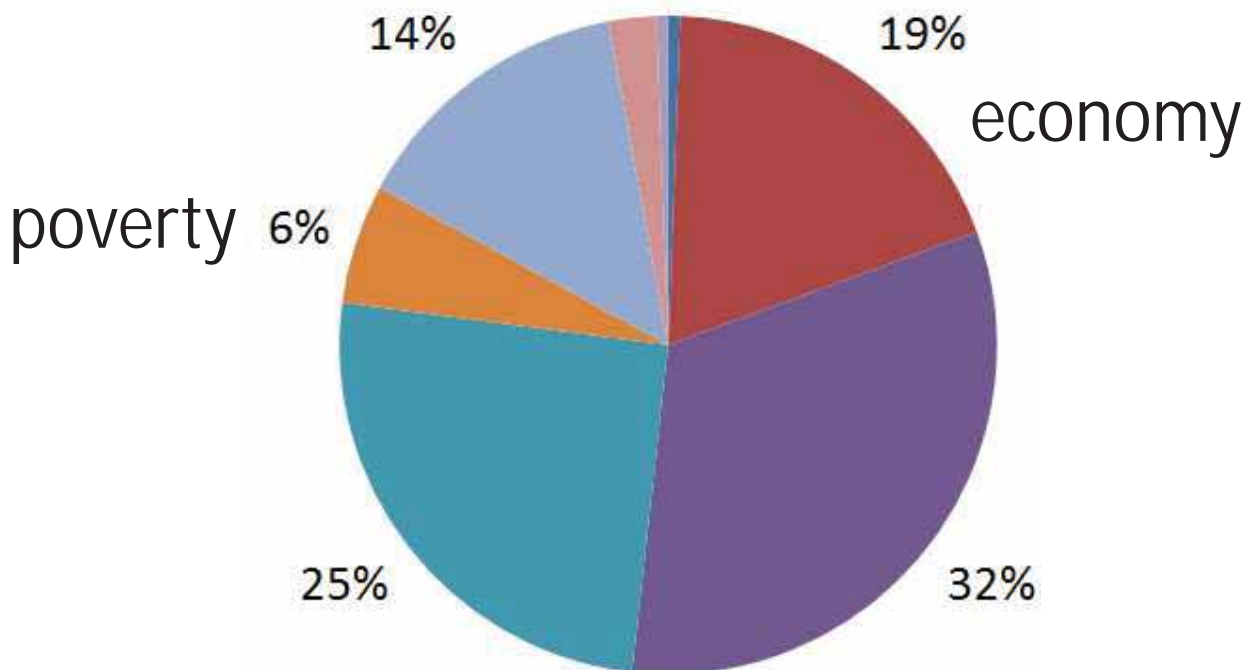
Sim Não (→ Por exemplo

4. Na sua opinião, quais são os maiores problemas que o Japão tem?
 Escolha os três maiores abaixo, e escreva na ordem (1º, 2º, 3º).

) problema ambiental
) economia
) relações com países estrangeiros
) política
) educação
) problema de pobreza
) segurança pública (assassinato, roubo, droga, etc.)
) emprego
) desastre natural (terremoto, chuva forte, etc.)



What are problems in Brazil?



Do you think Brazil is developed?



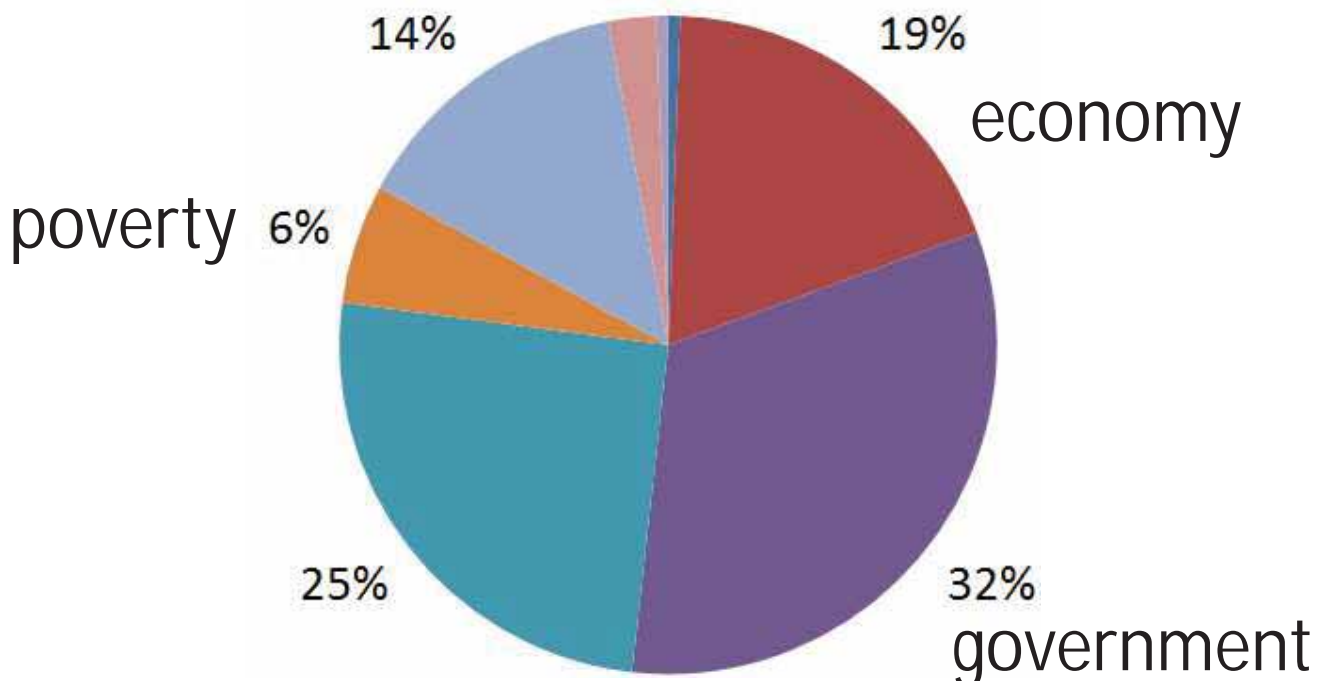
What are they doing?



Is this a good place to camp?



What are problems in Brazil?



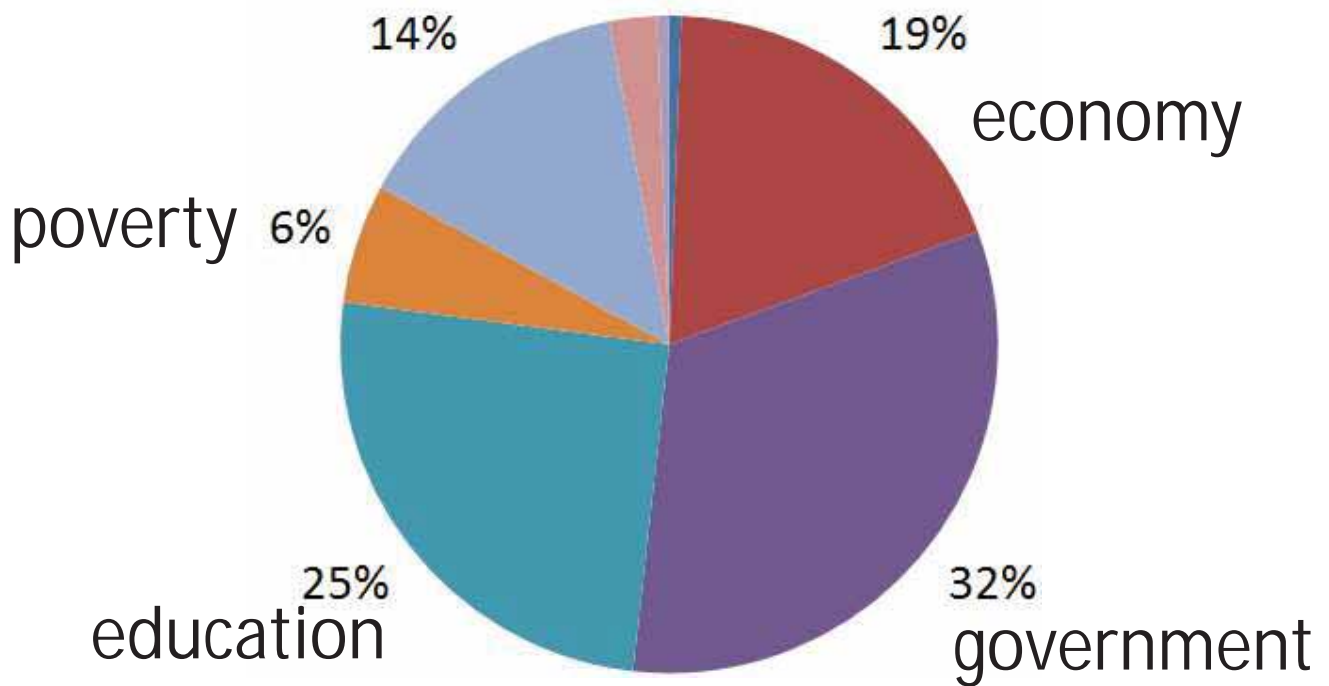
government



What was their problem?



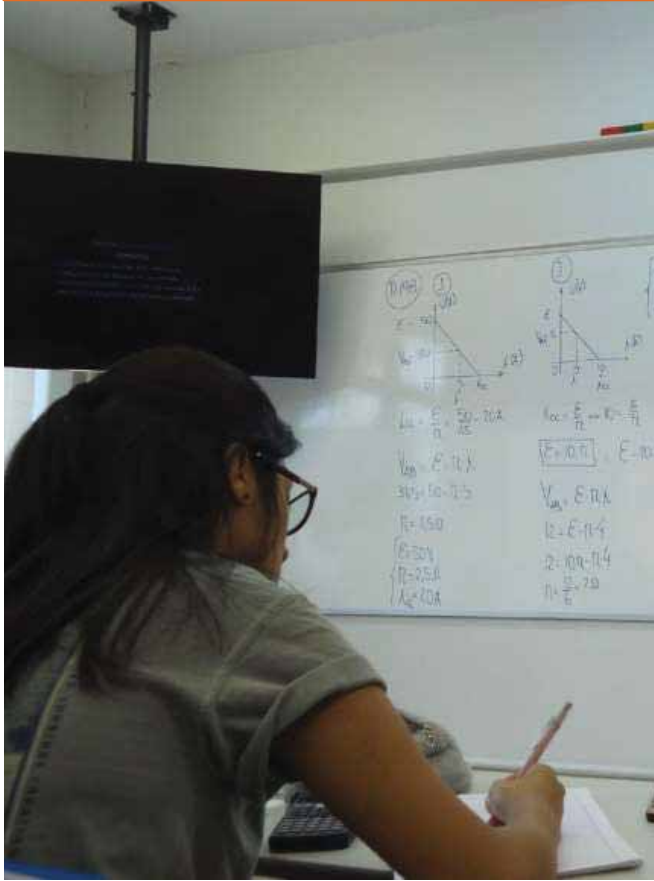
What are problems in Brazil?



private school



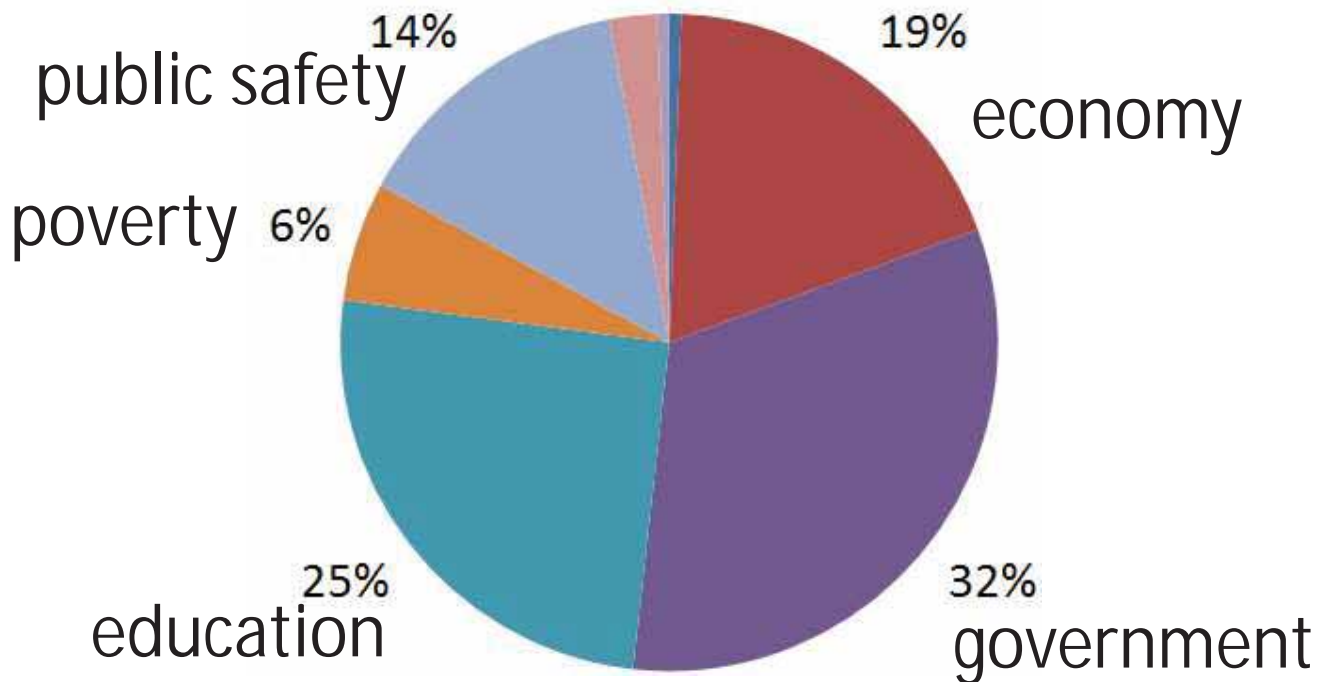
public school



Is this school?



What are problems in Brazil?



What are they doing?



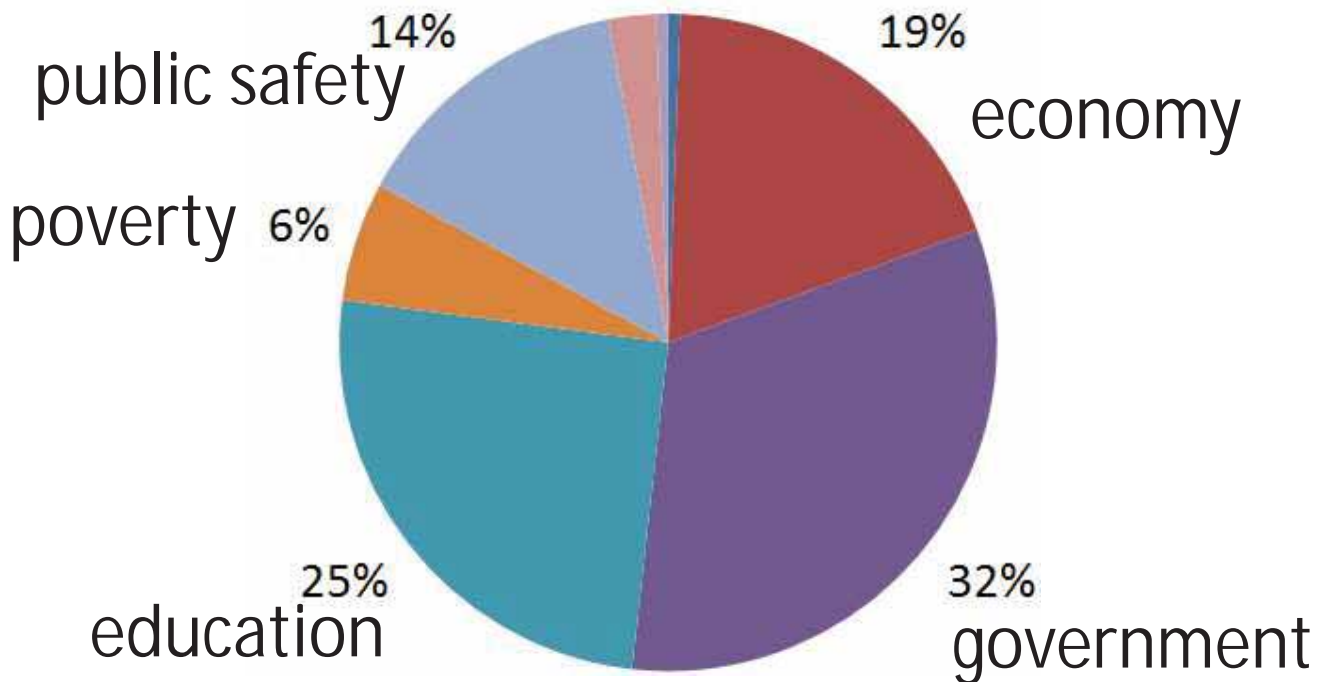
How do you feel?



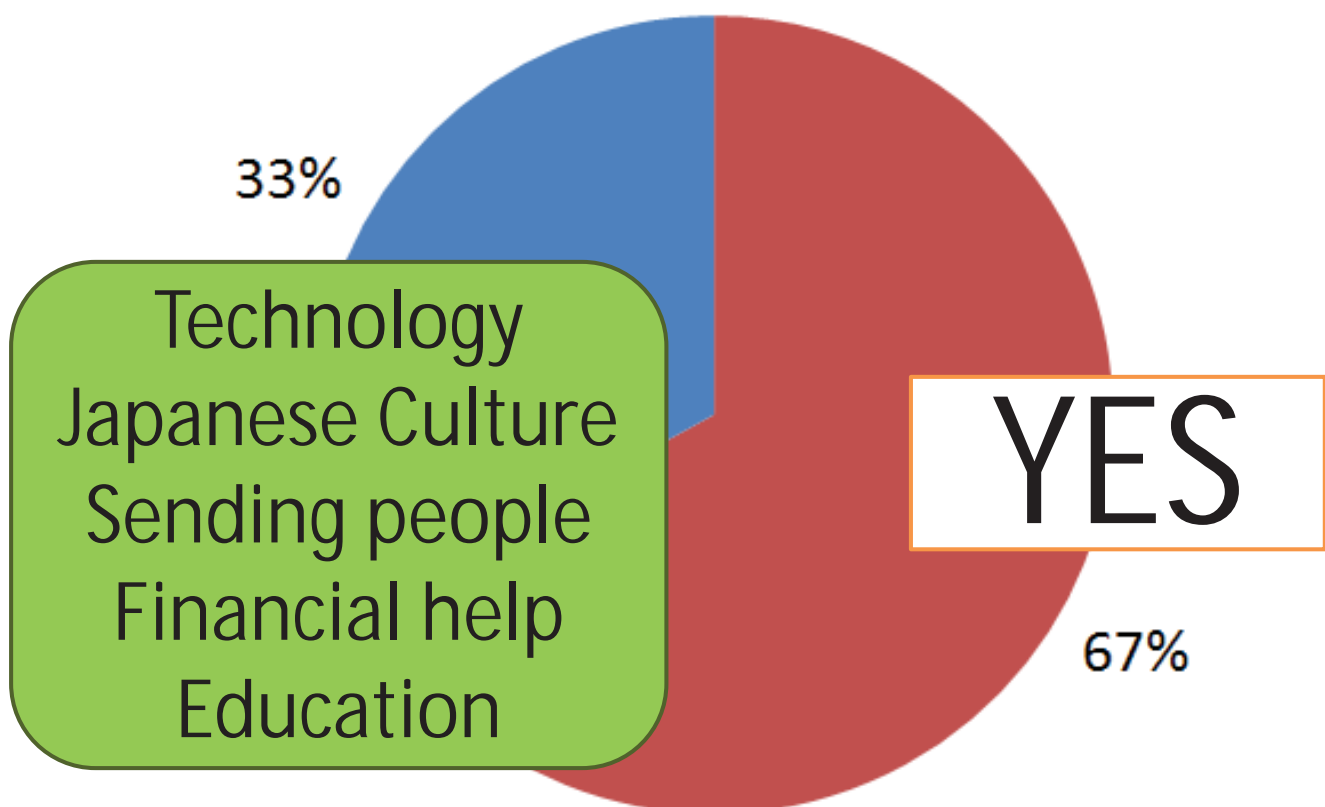
The police cooperating with communities



What are problems in Brazil?



Is there anything we can do for Brazil?



What we can do may be just small things, but I believe that our small actions will make a big difference in the end.



• I think that Goal [], _____
is the most important
because _____.

• I think that Goal [], _____
is the second most important
because _____

• To make th _____
_____.

What we can do may be just small things, but I believe that our small actions will make a big difference in the end.

Group Presentation



1

3

5

2

4

6